

**次期静止気象衛星（ひまわり 10 号）に L3Harris Technologies 製センサの搭載が決定**

2029 年度に運用開始が予定されている次期静止気象衛星（以下、ひまわり 10 号）に、丸紅エアロスペース株式会社（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：上瀧彰）が販売代理店を務める L3Harris Technologies, Inc.（本社：アメリカ、以下「L3Harris」）が製造する可視赤外イメージャ及びハイパースペクトル赤外サウンダが搭載されることが決定しました。

L3Harris が製造する可視赤外イメージャは、ひまわり 7 号から 4 基連続での搭載です。ひまわり 10 号に搭載されるイメージャは、ひまわり 8・9 号に搭載のイメージャから更に進化し、より高精度な観測を実現します。

ハイパースペクトル赤外サウンダは、我が国の気象衛星ではひまわり 10 号で初めて搭載されるセンサです。大気構造を三次元で観測し、線状降水帯などの発生予測に寄与します。